



第5回ワークショップ 「新設図書館の施設と空間を考えよう」 新設図書館や図書コーナーを、 どんな空間にしたいか考える！

令和4年5月15日(日)、「狛江市の新図書館を考えよう」市民ワークショップを開催し、総勢15名の方にご参加いただきました。現在、狛江市では市民センターの改修、新図書館の整備について検討を進めており、本ワークショップは市民の皆さんから意見をいただくことを目的としています。

今回のテーマは「新設図書館の施設と空間を考えよう」。ワークショップのはじめには、前回の結果の振り返りや、検討委員会における検討状況の紹介などを行いました。

グループワークでは、3チームに分かれ、新設図書館の各フロアや、図書コーナーに必要な機能や空間などに關して話し合っていました。

グループワークの後には、各チームで話し合った内容を発表していただきました。

市民ワークショップでのご意見（一部抜粋）



かさ チーム



○新設図書館

- ・1階には新刊本やよく貸出される本など親しみのある本を設置
- ・カフェやサロンなどを配置したい ・狛江を紹介するスペース
- ・2階は本屋のような、本が探しやすいディスプレイ
- ・3階はレファレンス機能や閲覧席やPCが利用できる席を設置

○市民センター図書コーナー

- ・「子ども図書館」という名称に、目的がはっきりするため
- ・市民活動を支援できるスタッフを配置、人と人をつなぐ手助けをする
- ・場所が2箇所に分かれることは不便

○新設図書館

- ・雑誌新聞コーナーは不要 ・狛江市の歴史や商業などの紹介スペース
- ・地域センター図書室の活用も考えたい
- ・1階に本の貸出コーナー ・2階は開架スペースのみ
- ・3階は仕事勉強スペース ・図書コーナーには本の返却ボックスを設ける

○市民センター図書コーナー

- ・図書コーナーはフリースペースが広いB案が望ましい
- ・電子書籍のためWi-Fiを設置
- ・電子書籍ではなく蔵書を増やしてほしい⇨電子書籍の活用
- ・大学図書館のようなワンストップサービスを実施
- ・週に1回くらいは開館時間を延長、現役世代が利用できるように配慮
- ・当初より予算が増えているか懸念される

長靴 チーム



おたまじゃくし チーム



○新設図書館

- ・大人中心、より深い知識を得られる場所
- ・蔵書数が欲しい⇨市民の発信力を活用、市民が本の情報を交換できる交流コーナーを設ける
- ・明るく魅力的な階段、BGMを流す、カフェスペースを設ける
⇨人それぞれに感じ方があるため、スペースごとに利用方法を変えられるように空間を分けられるようにする

○市民センター図書コーナー

- ・子ども中心、カジュアルな利用ができる場所

次回予告！

第6回のワークショップは、6月12日(日)に開催予定です。テーマは「新図書館整備基本構想(案)を考えよう 一新図書館の今後の使い方」です。今までの意見や検討内容をふまえ、新しい図書館の基本構想案についてご意見をいただくことを予定しています。

ワークショップの開催予定や実施内容については、狛江市のホームページに掲載しています。詳しくは、右の二次元コードよりご確認ください。ワークショップの全ての意見が載っている全録版もこちらからご覧ください。

お問い合わせ先: 03-3430-1111

〒201-8585 東京都狛江市和泉本町1-1-5

狛江市政策室・公民館・図書館

市HP

